

MINIと遊び・暮らす
ライフスタイルフリーマガジン [ミニ バフプラス]

February 2010

MINI Buff+™

創刊号

vol.

01

FREE

ご自由にお持ちください

MINI OWNERS FILE

MINIは面白い。
MINIに乗る人は
もっと面白い。

INQUIRING INTO BRITAIN

[英国探訪記 MINIゆかば]

SCENERY ONLY OF ME

ため息の出る景色。

MINI SHOP & WORKS FILE

この人たちがお店をやっています。



MINI OTA



O.Z.

Winning Style

Collaboration Wheel Debut !!!



鋳造ホイールで、これまでにない 軽量・高強度・高剛性を達成。

Alleggerita HLTは、インナーリムのアルミ組織を伸ばす加工に、最新成形テクノロジーである「FROW FORMING製法」を採用。この技術は、鍛造製法のように均一なアルミ分子組織のメタルフローを実現しており、鍛造ホイールに匹敵する強度と剛性を誇ります。また、リムを薄く加工できることで、鋳造ホイールとしてはこれまでにない軽量化にも成功しています。

MINI 大田×O.Z Wheel コラボレーションモデル登場!!

F-1 ホイール・マニファクチャラーとしてサーキットを舞台に活躍を続けるO.Z.、長年の研究と実戦によるレーシングテクノロジーがフィードバックされたホイールは、トップレベルの軽量性と剛性を追求したリアルレーシングデザイン。そしてシャープでスクエアなフォルムが生み出すスタイルは、モータースポーツのスピリットを感じさせ、強さと美しさを演出します。2009年にオープンした「MINI 大田」は、O.Z.の飽くなき探究心に共感し、本物と個性を求めてやまない、ミニ・ユーザーのみならずに向けて、特別モデルをO.Z.と共同で企画。2つの鮮烈なメッセージをお届けします。



Alleggerita HLT

6.94kg!!

Ultraleggera

*重量は、O.Z.イタリア本社HP調べ、重量は、3%程度の個体差が生じる場合があります。



BMW MINI 専用

Alleggerita HLT アレジェリータ エイチエルティエー

Type: Monobloc
Design: 9-Spokes
Center Cap: White carbon fiber
Standard Color: Matt Black & Ribbon
Size: 17×7.0J
Price: ¥56,000

BMW MINI 専用

Ultraleggera ウルトラレジェーラ

Type: Monobloc
Design: 6-pairs of spokes
Center cap: red
Color: Matt Silver
Size: 17×7.0J
Price: ¥55,000
O.Z. Racing特製 RIMステッカー3Pcs(レッド) 付属

エキサイティングな出会いがきっとある。MINI大田オープン!!

MINI OTA



MINI Ota

〒145-0065 東京都大田区東雪谷 2-4-3
TEL 03-6894-3255 FAX 03-6894-3250
http://www.ota.mini.jp

発売元

株式会社 阿部商会 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3

製品についてのお問い合わせは
阿部商会のフリーダイヤルへ。

0800-100-4182



I N Q U I R I N G I N T O B R I T A I N



英国探訪記 MINIゆかば

良き伝統を 継承するための努力

●写真・文＝川名正拳

かわなまさひろ／1964年生まれ、神奈川県出身のグラフィックデザイナー。日本での愛車は走行距離11万キロの2003年式ミニクーパーS。猫を2頭飼っている。

目指したのはロンドンの西約200km、イングランドのほぼ中央に位置するコッツウォルズ地方。北はチップینگ・カムデンから南はバース、東はオックスフォードまでの広大な丘陵地帯を指し、ロンドンからはクルマで2時間くらいの場所です。緩やかな傾斜とカーブが続くワインディングロードを上ったり下ったり、緑に囲まれた気持ちの良いドライブが続くにつれて、周りの風景が少しずつ変化。たくさんの羊たちが放牧されている様子が心が癒されました。

この地方一番の特徴は「はちみつ色の石 (honey coloured limestone)」と称される、やや黄色がかった石灰岩で作られた建物です。立ち寄る村々の家や塀は、必ずと言って良いほどこの石で作られており、色調による一体感を生み出していました。植物の緑色との組み合わせも上品で美しい。きっと英国を代表する景色のひとつなのでしょう。

カントリーサイドには小ささまざまな村が点在しています。気になる場所を見つけてはミニを止め、辺りを散策しました。ラベンダー畑を見つけたときは思わず「おお～」と叫んでしまいました！ コッツウォルズは公共交通機関が乏しいため、隅々まで満喫しようと思った場合にはクルマでの移動が必須なようです。ツアーバスでの移動を強いられている観光客が多かったので、ちょっとお気の毒な感じでした。

いくつか立ち寄った中で特に印象に残ったのが、バイブリーという村。水鳥が遊ぶ清らかな小川、丘に向かって伸びる古道、ひなびた感じの建物などが見事

に調和しており、アーティストで詩人でもあるウィリアム・モリスが「イングランドで一番美しい村」と賞賛したと言います。中でも圧巻だったのが、アーリントン・ローの家並み。14世紀に羊小屋として建てられ、17世紀には職人の家として使用されたそうです。現在はナショナル・トラストが管理しているそうですが、窓から覗いて見たところ、どうやら実際に人が暮らしているようでした。「これ、映画のセットじゃないの?」と思ってしまう雰囲気があり、本当に感激しました。

実はクルマを降りてこの雰囲気たっぷりの風景を見た瞬間、「ああ、こういうことなんだ」と、スーッと胸に落ちた気がしました。用途は違えど何百年ものあいだ使われ続けてきた家々。その時代の暮らしに適應させながらも、良き伝統を継承するための努力を惜しまない英国人気質を感じました。こういう土地で生まれ育った人たちがミニというクルマを生んだ。なるほど、通じる部分があるな、と妙に納得したのです。



自宅の一角に作られたウッディなスタジオに案内してくれたのは羽田浩士さん。人一倍、楽器への強いこだわりを持つミニオーナーだ。

高校時代に「モテたいから」という明快な理由でロックバンドを始めた。後に社会人となり自由に使えるお金を手にした頃から、楽器そのものに対する興味が湧いてきたという。バンドでの担当楽器はベース。今までに所有したエレキベースは優に100本を超えるが、手元に残しているのはわずか5本だという。

「ジャズベースだけでも30本以上を手に入れました。その中から最高と思える1本だけを残すのが僕のこだわり。楽器が本来持っている個性に魅力を感じるタイプで、自分好みに改造することはしないんです」

なるほど、そういえばダークシルバーのミニもシンプルにセンス良くまとまっている。

「ドライブ中に感じるゴーカートフィーリングや高揚感が、どこかバンド演奏に似ている気がするんです。個人的なのに飽きの来ないデザインも気に入っているので、ミニとは長い付き合いになりそうです。」

羽田さんの仕事は塗装業。住宅や店舗の内外装をはじめ、家具などの小物も手がけるという。楽器の塗装について尋ねてみた。

「音を追求するうえで塗装膜は薄い方が良いとされているのですが、塗装なしでは木製のボディが湿気の影響を受けてしまう。バランスや技術だけでなく塗料も大切な要素。もちろん見た目の美しさも非常に大事です。実は楽器塗装の職人“フィニッシャー”を目指し、アメリカで勉強する計画を立てているんですよ。」

近い将来、自分の手で仕上げたベースを持ち、ステージに立つ姿を見られる日が来るかもしれない。



羽田さんにとって楽器はコレクションではない。地元静岡や東京のバンドに参加しながら、理想の音を求め続けている。



ディーラーで取り付けたオプション以外は、ノーマル主義。ミニは五感をしっかり受け止めてくれる「アコースティックなクルマ」という。

いままで100本以上の
ベースを手に入れました。



左からムーン君、アース君、アポロ君。ドライブが大好きな3頭は、どこに連れて行っても人気の的。人と知り合うきっかけになるとか。



時にはスポーティーに、時にはのんびりと。似て非なる2台ではあるが、運転するたびに感じるわくわく感はずっと受け継がれている。

甲府盆地を見下ろす高台に、それぞれが運転するミニで現れた中澤幸司さんと由美子さん。車内いっぱい積み込まれたケージを開けると、中から小さなワンちゃんたちが次々に登場した。

「この子たちは“カニンヘン・ダックスフンド”という、一番小型のダックスフンド犬種です。結婚してすぐに茶色い“ムーン”を飼い始めましたが、まん丸い瞳やその仕草など、あまりの可愛さにふたりともメロメロに」

ひとりぼっちでは寂しいだろうということで、すぐに黒い“アース君”が仲間入り。その後ミニを購入した。

「以前は大きなアメ車ばかりだったので、次は犬と同じように小型サイズにしたかったんです。発売されて間もないニューミニに冷やかし半分で試乗してみたところ、一発で惚れてしまいました」

インターネットで見つけたオーナーズクラブに入った

ことにより、ふたりのライフスタイルは大きく変化。週末ごとに夫婦で出かけ、全国に友人がででき、行動範囲や積極性、視野も広がったという。

「ダックスが僕たち夫婦の名刺代わり。どこに連れて行ってもまず最初に注目を浴び、次に飼い主が声をかけられる。ならば、もう1頭くらい増えても飼うための苦労は同じと、こげ茶色の“アポロ”が加わりました」

一昨年、由美子さんのリクエストで、ニューミニとお揃いの青いクラシックミニを手に入れた。

「ミニもダックスも大好きです。僕たちにとって大切な家族の一員。会社の同僚からは『本当に好きだなぁ、おまえんちは』などと言われていますが、これは譲れませんね。いままで通り、たっぷり愛情を注いでいきますよ。さすがに3台はないと思いますけど」

青空の下、3頭は凛々しいポーズを決めてくれた。

3頭のダックスフンドが夫婦の名刺代わりです。



オープンカーが大好きな不動智一さんと、ミニが大好きな久遠麻衣さん。ふたりが選んだクルマは屋根が開くミニ・コンバーチブル。実は久遠さん、以前ミニのディーラーに勤務していたことがあるそうだ。

「ミニって本当に可愛いし、誰からも好かれるクルマだと思います。年齢や性別を問わずさまざまな方が買っていてびっくりしました。中には『街で見かけて可愛いと思って』とか『息子に聞いて来た』なんていうおばあちゃんがいまして。大好きなミニに囲まれ、毎日が充実した楽しい職場でした」

そんなある日、不動さんとの出会いによって、心のなかに少しずつ変化が現れてきたようだ。

「もともと行動的なタイプで、いろいろなことに興味を感じていた私に『若いうちこそ、好きなことに挑戦してみたら』と言って彼が背中を押してくれたんです。ミニディーラーの仕事に不満はありませんでしたが、思いきって新しい世界に踏み出すことにしました」

久遠さんは現在イベントMCとして活躍中だ。自動車関連の華やかなショーに出演する機会が多く、前職も相まってクルマやモータースポーツに関する知識はかなり深いらしい。

「この仕事を通して、頑張っているたくさんの素敵な女性と出会います。日々刺激を受けていて、私なりにもっと輝ける場所がないかと模索中です。ラジオのDJを目指した勉強を続けていて、あるラジオ番組のパーソナリティの座をこっそり狙っているんですよ。無謀かもしれませんが、夢は大きく持った方がいいですよ」

不動さんの心強いサポートを受け、今日も久遠さんはどこかで走り続けている。



ラジオDJを目指してたいま勉強中という、アクティブな久遠さんのブログをチェックしてみよう!
<http://ameblo.jp/maico-smilestyle/>

休日は温泉に出かけたり、美味しいものを探しに行くのが、ふたりの定番。もちろん冬でも屋根はオープン。



ラジオ番組のパーソナリティをこっそり狙っています。



木のぬくもりで癒しを求めた〈インテリアアクセ〉は手島さんのオリジナル作品。メタル素材のハードな作品たちとは対称的だ。
テシマ デザイン スタジオ / Teshima Design Studio
<http://www.teshima-design.com/>

アナログな作業が 作品に現場感を吹き込む。

自らがデザインしたドライバーを持つ手島彰さん。自動車メーカーやオフィス家具メーカーを経て独立し、幅広く活躍しているプロダクトデザイナーだ。

「デザイナーとしてのキャリアは、スバルの初代インプレッサWRXがスタート。WRC(世界ラリー選手権)参戦車両として最高性能が与えられたモデルです。外観のカースタイリングを始め、オプションパーツやロゴデザインなども手がけました」

学生時代はデザインを専攻、同時に筑波サーキットでレース活動をしていたという手島さんにとって、華々しい社会人デビューになったといえるだろう。

「当時は圧倒的に人手が足りなく、新人ながら多くの作業行程に携わりました。イメージスケッチや図面を描くだけでなく、立体模型を作ったり実際にクレイを削ったりして、絶妙なボディラインを決めていったんです。

相当きつい仕事内容でしたが、このときの経験が僕のデザインの核になっているような気がします」

コンピュータ上で3D図面を完成させれば「それで終わり」ではないというのがポリシー。

「最終的にアナログな作業がほんの少し加わることで、より、無機質な作品に“現場感”が生まれると考えています。特にゴルフのクラブヘッドなど、ユーザーが実際に手で触れる機会が多いものほど大事です」

ガレージには鮮やかな黄色いミニ。まるでアトリエの一部のように馴染んでいる。

「ホイールデザインに関わったことがきっかけで関心を持ち、ミニを手に入れました。プロポーションのバランスが抜群ですね。スタイリングに現場感が溢れていて、デザイナーの心意気を感じます」



仕事で訪れる先々で「いいクルマですね」から会話が始まる。ミニが放つ独特のオーラによって、作品への期待感を抱いてもらえるという。

自分で操縦できる乗り物が大好きという松本樹さん。レーシングスーツを身にまとい、自慢の大型バイクにまたがってもらった。いまだに十数台ものクルマを乗り継いできたというが、その熱中ぶりが凄ましい。「大学時代は四輪駆動車でクロスカントリーに熱中しました。起伏の激しい場所を選んで走り、横転しては修理を重ね、最後は廃車に至ってしまう。とても気に入っていたため同じ車種を何台も乗り継いだのですが、結局すべて潰してしまいました」

オートバイ、バギー、ヘルメット、ジャッキなどが並んだ自宅ガレージは、まるでおもちゃ箱のようににぎやか。「心がけていることは“そのクルマを、そのクルマらしく使い倒す”こと。スポーツカーならサーキットを走り、大

もともとは妻のクルマだったはずが……レース用のシートやタイヤを装着してサーキットを走ること多いという。



松本さんが管理人を務めるmixiのコミュニティ「小さなMINIの集まり」では一緒に遊べる仲間を募集している。
http://mixi.jp/view_community.pl?id=3935093



バギーで通勤する日は
 思わず笑顔になっちゃいます。

きなパンなら、バギーやキャンプ道具を一杯積み込んで、家族と山に出かけます。数年前からバイクにも乗るようになりましたが、鈴鹿サーキットを走ったりもしています。男なら膝を擦ってナンボ、ですよ」

松本さんは学習塾を経営しており、自身も講師として教壇に立つ。ガレージの乗り物はすべて、その通勤の足として実際に使われるというから驚きだ。

「その日の天気や気分でも乗り物を決めます。クルマやオートバイで通うことが多いのですが、90ccのバギーを選ぶことも。スピードは出ないけど最高に楽しい。歩行者から指を指されると、思わず笑顔になっちゃいます。先日新しく自転車を手に入れたばかりなので、しばらくのあいだメインの足にしようと思っています」

黄色いミニはもともと妻のクルマとして購入したのだが、いまではすっかりお気に入り。時には無邪気に、時には真剣に乗り物について語る松本さん。きっと生徒たちからの人気絶大な“熱い先生”に違いない。

ポップなホームページが楽しい『レーサーズ』。代表のヨシ・オカムラこと岡村祥匡さんは、いち早くニューミニのアフターパーツマーケットに注目した人物だ。

「2002年に日本でニューミニが発売された直後にオープンしました。オンラインショップは初めての経験でしたが、インターネットの普及が追い風になりました」

ハワイのディーラーと親交があり、US仕様のパーツなどが早く手に入るという。ちなみにレーサーズはハワイ州に株式会社として登記している。

「名刺にホノルルの住所を入れたくて。仕事も遊びも楽しくやろうよ、というアロハスピリッツをバックボーンに据えたかったんですよ」

「ハワイが大好き」と公言する岡村さんは、過去ホノルルマラソンに7回出場。いずれも完走している。

「たとえ遅くても『Good Job!』と誰もが声をかけてくれます。チャレンジしている人に惜しみない拍手を送る、人が優しいと感じられる場所なんです」

決して目には見えない、そういった人と人の繋がりを、ビジネスにも活かしていきたいという。

「アフターパーツのコンシェルジュのように利用して欲しいんです。ただ注文を受けて『はい、おしまい!』にはしたくない。いずれは映像チャットを使ったオンラインでの対面販売を実現してみたいですね」

顔が見えないオンラインショップだからこそ、信用や安心感を大切にしているのだろう。

コンシェルジュのように利用してもらいたいですよ。



キーを模した8GBのUSB STICKは5,775円、クローミングキーリングは9,660円。いずれもR55&R56ユーザーにおすすめ。



ナンバーボルトセットはユニオンジャック/チェッカーフラッグ各3,255円、4枚一組のセキュリティステッカーはR50用/R56用各2,940円。



ハワイ・オアフ島の金刀比羅神社で見つけてきたHawaii Flag Ornament 2,520円。ポップなデザインが楽しい、イチ押しのアイテムだ。

アイテム総数1,500点以上を誇るニューミニパーツ専門のオンラインショップ。電話やFAXでも注文・問い合わせが可能。取付けに関する希望があれば、日本各地800箇所の特約店を紹介している。

レーサーズ

神奈川県藤沢市藤沢976-6 湘南ビル3F

☎0466-24-6885 ㊟0466-24-6875

🕒9:30~18:00 📅土曜、日曜、祝日

インターネットからの注文・問い合わせは24時間受付



ため息の出る景色。

[富士山]

柳田夫妻が向かったのは富士山。神奈川県に住むふたりにとって、富士山はやはり身近に感じられる存在だそうだが、わざわざ見に行く機会は少ないそうだ。そこで今回は、あえて神奈川県側からは見ることのできない西側へ向かうことになった。東名高速道路を富士ICで降りて、国道139号を北上。その後、林に挟まれた脇道を抜けていく。目的地は田貫湖である。

富士山周辺の湖をいえば、山中湖に代表される富士五湖が真っ先に挙がるが、実は田貫湖は写真愛好家のあいだでは非常に人気が高い。湖面に富士山が映りこむ逆さ富士の写真と、まばゆい光を放ちながら山頂から太陽が現れるダイヤモンド富士の写真を狙える撮影スポットだからだ。

左右にくねる見通しが利かない坂道を下って、ようやく田貫湖に到着する。しかし、到着時点での富士山は、バックミラーにちらりと映る程度で、撮影の名所と呼べるような雰囲気はなかった。湖畔の道をさらに進み、湖の反対側に回り込むことになった。道は行き止まり、駐車場に着いた。



クルマを降り湖畔へ出る。すると目前に、青空にそびえ立つ富士山がいきなり現れた。その威容は、湖畔の道沿いからは見えない位置に隠されていたのだ。ピンと張り詰めた空気、一部が氷結した湖面、ゆっくりと流れる雲。まさに、富士山日和である。「以前も、田貫湖の近くにドライブがてら遊びに来た

ことはあるんですよ。でも、田貫湖の湖畔から富士山を見たことはなかったし、これほどの全景を見たのは初めてです。西側から見ると男性的ですね」

栈橋で富士山をじっくりと眺めたあと、夫の裕さんが感想を口にした。妻の孝子さんが言葉を続ける。

「山肌のえぐれているところまで、はっきりと見えました。いつか登ってみたいと思いました」

夫妻は、毎年7月になると、長野県の車山までニッコウキスゲを見に行くという。車山周辺でニッコウキスゲが咲き乱れるのは、わずか1週間程度。タイミングを推し量って、山吹色に染まる景観を求めてクルマを走らせるのだそうだ。そんなふたりにとって今回の富士山行きは、特別なものになったといえそうだ。



田貫湖を離れて、夫妻が以前訪れたことがあるという、ふくろうのいるテーマパークに立ち寄った。手が届く距離にいるふくろうを見て、孝子さんは大喜び。もともと孝子さんは、ぬくもりを感じられるイギリス系のアンティーク家具やカントリー調家具が好きで、理想の家は宮崎駿監督の映画『千と千尋の神隠し』に出てくる銭婆（ぜにーば）の住まいだという。ふくろうは動物ではあるが、確かに落ち着いた色合いは似ている。裕さんも孝子さんと好み近く、新居を構えた際には、ふたりで10軒以上の家具店や雑貨店を回って、家具やインテリア小物を集めたそうだ。



ゆたか
◎旅人 柳田 裕さん
柳田孝子さん

神奈川県座間市在住。夫は会社員、妻は保育士。「Be-1」、「ラシーン」を経て、2008年にCOOPER CLUBMANを購入。

帰路は往路を戻すのではなく、富士山を時計回りに回り込むようなルートを選ぶことになった。富士パノラマラインを走り、本栖湖の脇を抜けたところで西湖の湖畔へ。西湖は、山中湖や河口湖よりも訪れる人が少なく、景観を楽しみつつ自分のペースでクルマを走らせることができる。そして、湖畔沿いに建つ日本蕎麦屋を発見。立地的に、湖畔を眺めての食事が取れそうな場所である。迷わず入店。湖畔側の席に案内され、景観に見とれつつ蕎麦をたぐる。

「ここもきれいな場所ですね。湖畔が間近に見える」と裕さん。以前、ダイビングを経験して以来、夫妻は自然の素晴らしさに敏感になったのだという。さらに2008年にミニと出会ってからは、クルマで出かける楽しさを改めて知り、休日になるとふたりでドライブがてら自然に触れる機会が増えたのだとか。

「もうすぐ結婚25周年なので、北海道に行きたいと思っています。そして、ゆくゆくはイギリスに行きたいですね。自分たちの好きな文化に直接触れてみたいし、ミニの祖国を走ってみたいんですよ」

出かけた先での発見が楽しいから。走っているひとときが楽しいから。素直な思いを満ちたための、ミニでの日帰り旅行。夫妻は笑顔で走り去っていった。



国道246号と環八通りが交差する瀬田交差点の近くに、昨年12月、ミニ専門ショップ「iR (イール)」がリニューアルオープンした。代表を務めるのは綾部俊さん。ファッションブルな出立ちの男性だ。

「1999年に都内で10坪の小さなショップを開き、それから6年後にもう少し大きな物件に引っ越し、このショップは3軒目になりますね」

引っ越しのたびに規模を大きくしていったそうだが、基本コンセプトは変えていないという。

「いわゆる“クルマ屋さん”っぽくはたたくなくて、内装に木を使ったり、カフェのような居心地のいい空間演出を狙ってきました。ミニというクルマを嗜好品として、ライフスタイルを演出するアイテムとして捉えてほしい思いがあるんですよ」

この言葉を裏付けるように、現在のショップでは家具や雑貨などをディスプレイ販売している。デザイン集団“ランドスケーププロダクツ”と、ファッションブランド“DOARAT”とコラボレーションしたミニを手がけた試みも、その延長線にある。

「今後は、店内をアートギャラリーとして機能させたり、紅茶やコーヒーを販売していきたいと思っています。ミニに乗る人のバックグラウンドまで満たせるショップにしていきたいんです」

主役はクルマでなく、あくまで乗る人ということなのだろう。今後とも目が離せない存在となりそうだ。

乗る人のバックグラウンドまで満たすショップにしたい。



ニューミニはCVT以外の全車種を扱う。クラシックミニは程度の良いものに限定。クラブマンの在庫が多めだそう。修理やメンテナンス用の専用ファクトリー「iR MAKERS (イールメーカーズ)」も設けている。

iR (イール)

東京都世田谷区上野毛4-39-7 1F

☎ 03-5797-2288

🕒 10:00~19:00 📅 月曜。月曜が祝日の場合は翌火曜。



2008 MINI COOPER S CLUBMAN /6AT /23,000km / 検2011年3月 / 2,850,000円



2005 MINI COOPER S CONVERTIBLE /6AT /40,000km / 検2011年8月 / 1,920,000円



ラウンドフォルムが特徴的なキャンドルスタンド。オリジナルのサッシュは2色展開している。

SHIPS

シッpsならではの 楽しみ方を提案していきたい。

セレクトショップとして知られるシッpsが手がけるカーライフショップ『SHIPS LITTLE CARS (シッps リトルカーズ)』が、今年3月、豊洲にリニューアルオープンすることになった。店長を務めるのは三浦亮一さん。10年前、シッps社内でプロジェクトが立ち上げられた当時のメンバーだ。

「規模や店内の雰囲気を一一新することにしましたが、コンセプトに変わりはないんですよ」

クルマ好きの父の影響で、三浦さんは10代の頃から乗り物は遊び道具のひとつと考えていたそう。さらに自動車修理工場での実務経験を通して、ヨーロッパ車の特徴やクルマ文化も深く知ることになったという。「ミニは、自分を表現するうえでバランスのいいクルマだと思っています。もちろん、走っても面白い。シッpsで扱うファッションアイテムも、そういう部分では共通の価値観がある。品質にこだわったうえで、お客様に合ったスタイリングを提案できますから」

新しいショップではカフェを設け、メンズのファッションアイテムも扱う。つまり、シッpsが考えるカーライフを提案していく空間となるわけだ。

「僕はクルマで旅に出るのが好き。何を着て何を持っていくかを考えるのも楽しいでしょ。こうしたクルマの楽しみ方を伝えていきたいですね」

愛車はクラブマン。木目調に仕上げたリアバンパーに、三浦さんの遊びどころが見て取れる。



CABANAのデザインシートカバー、パークレーン/本革パンチングタイプ、カラチャイスが可能。



ニューミニ専用に新発売されたバスボーツ レーシングのアルミホイール (C8FE-X) 66,150円〜



1階にはミニをディスプレイ、2階にカフェとショールームが設けられる。待ち合わせにも便利そうだ。



煉瓦作りの瀟洒な建物。シッpsとコラボレーションしたミニを年に1〜2台のペースでリリースしていく予定だという。ミニオーナーのリクエストに応じたトータルプロデュースも手がけていく。

シッps リトルカーズ 2010.3.3 OPEN

東京都江東区東雲1-6-8

☎ 03-5548-0032 (3月3日以降)

🕒 11:00〜20:00/11:00〜L.O.22:00 (カフェ) ㊿ 不定休



©2007 Universal Studios and Motion Picture Alpha Produktionsgesellschaft MbH & Co. KG. All Rights Reserved. Mr.BeanTM & © Tiger Aspect Productions Ltd 2007.



Mr. Bean カンヌで大迷惑?!

- 発売元: ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント
- 価格: 1,800円(税込)
- 発売日: 2010年4月2日



究極のトラブルメーカーが、南フランスで巻き起こす珍騒動!

90年代にテレビ放映され、日本でも人気を博した、イギリス版“変なおじさん”こと「ミスター・Bean」。本作は、テレビシリーズから10年を経て制作された、映画版第2弾となる爆笑コメディだ。

クジでフランス旅行を当てたBean (ロワン・アトキンソン)は、映画祭シーズンのカンヌへ。列車では同じくカンヌに向かうロシア人映画監督エミールと、その息子ステパンと知り合うが、エミールはBeanのせいで駅のホームに置き去りに! 列車内に残されたステパンを、なんとか父のもとに返そうと奮闘するBeanだが…。

物語の中心は、Beanと小さな相棒の珍道中。「変な

イギリス人がロシア人少年とフランスを旅する」という設定のため、ほとんど会話が成り立たず、そのために様々なトラブルが巻き起こる。

目的地まであと少しのところまで途方に暮れるBeanを拾ってくれるのが、本国ではBeanの愛車でもあるミニ。映画祭に出席する新人女優サビーヌと出会うのだ。映画祭シーンの一部は、実際に開催中のレッドカーペットで撮影したもの。ウィレム・デフォー扮する監督の“お芸術映画”を笑いのネタにするなど、ハチャメチャな展開が最後まで尽きない、ある意味すがすがしい作品に仕上がっている。

渡辺美帆



映画大好き
フリーマガジン
[シネマ パフプラス]

毎月第一土曜日発行

<http://the-buff.com/>

PRESENT

クラシックミニ USBメモリー

ルーフのユニオンジャックが可愛いクラシックミニのUSBメモリー。接続用の端子は車内に格納されており、レバーをスライドすることでリアハッチから飛び出すという凝った仕様。パソコンのUSBポートに挿すだけですぐに使用、接続時にはヘッドライトが点灯・点滅する。記憶容量は2GB。5名様にプレゼント。
■提供: 英国政府観光庁
<http://www.visitbritain.jp/>



5名様

※賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
※ご応募頂いた個人情報にはプレゼント発送の目的のみに使用させていただきます。また、個人を特定できない形でマーケティングとして使用させていただく場合があります。

応募方法

●氏名 ●年齢 ●職業 ●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●メールアドレス ●本誌を手に入れた場所 ●面白かった記事 ●面白くなかった記事 ●ご感想、以上をもれなく記入のうえ、ハガキまたはホームページからご応募ください。
<http://the-buff.com/>

ハガキの応募宛先

〒104-0061
東京都中央区銀座3-8-4 新聞会館53号
zatz! [MINI Buff+] 01号プレゼント係

応募しめくり

2010年3月1日(月) 必着

個性溢れるアクティブなミニオーナーを募集中!

[ミニ パフプラス]の誌面に登場していただける方を募集します。どんなミニに乗っているかは重要ではありません。ご本人の魅力的なパーソナリティやライフスタイルが主な選考要素。ディーラーやショップからの推薦も歓迎いたします。

- こんなことに熱中している ●こんな仕事をしている
- こんな遊びをしている ●こんなことを呼びかけ、活動している
- こんな仲間と楽しんでいる、などミニオーナーならどなたでも!

MINI OWNERS FILE 取材ご希望の方は必要事項をEメールでお送りください →→→ mini@team-zatz.com

●氏名(フリガナ) ●年齢 ●職業 ●郵便番号 ●住所 ●電話番号(自宅・携帯) ●メールアドレス(PC・携帯) ●自己アピール ●ご本人のデジタル写真(はっきり顔がわかるもの) ●お乗りのミニのデジタル写真(車種や色が判別できるもの) ●本誌の感想

※選考は[ミニ パフプラス]編集部による独自の基準で行われます。選考結果などはお答えできませんので予めご了承ください。

※お乗りのミニのドレスアップやチューニングなどは選考の対象になりません。ノーマル車の方も歓迎です。

※採用された方には直接ご連絡し、合意を得たうえで取材・撮影に伺います。なお謝礼などはございませんので予めご了承ください。

MINI SHOP & WORKS FILE 掲載お問い合わせは… ☎03-3404-5626 (広告担当/株式会社アルゴノート)

MINI Buff+™ 第2号は2010年5月発行予定です。

[ミニ パフプラス]の配布にご協力くださるショップ、飲食店、レジャー施設などを募集しています。
[ミニ パフプラス]に関するお問合せは ●有限会社ザッツ [ミニ パフプラス編集部] ●TEL 03-3538-3561 ●Eメール mini@team-zatz.com



MINI Buff+ Staff

Organizer: Atsuko Suzuki
Director: Hideo "galy" Isaka
Chief Editor: Yuji "Carlos" Iwasaki
Editor: Miho "Susie" Watanabe
Art Director: Masahiro "Macky" Kawana
Designer: Hidenobu "Jimmy" Noguchi
Coordinator: Shinya Sasaki
Kei Kuratani
Staff: Ken "nkenke" Sugimoto
Yuichiro Maeda (Peco)

General Producer: Hideo Nishimura
Head Coach: Makoto Yumenari

発行: パフ・パブリッシング (Peco Company Inc.)
〒106-0032 東京都港区六本木3-13-12エルサビル3F
TEL:03-3405-1622 FAX:03-3405-2949

編集: 有限会社ザッツ
〒104-0061 東京都中央区銀座3-8-4 新聞会館53号
TEL:03-3538-3561 FAX:03-3538-3560

広告: 株式会社アルゴノート
〒107-0061 東京都港区北青山2-9-8-301
TEL:03-3404-5626 FAX:03-3408-7080

配布: パフ・パブリッシング
印刷: Peco Factory
総合プロデューサー: WEVCO Produce Company
総合コーチング: 夢成塾

表紙モデル: 岩熊裕子先生
衣装協力: 岩熊屋 <http://iwakumaya.com/>

Buff+ ホームページ

各種お問合せやプレゼントの応募ができます。
<http://the-buff.com/>

Buff+ 広告掲載のお願い

Buff+への広告掲載を随時受付しております。

※本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Buff's Choice!

ビッグニュース! ミニに新しい仲間が加わることに。シリーズ初の4枚ドアを装備した「カントリーマン」は、高めの最低地上高とオプションの四輪駆動システムにより、街中はもちろん郊外を走る機会がさらに広がりそうなクロスオーバー・モデル。

日本国内でのリリース時期は未定だが、スタイリングも使い勝手も楽しみな一台である。



Hello! MINI Countryman.



エンブレムがテールゲートの開閉ハンドルを兼ねているようだ。ミニらしいユニークなアイデア。

室内のセンター・レールには小物入れやカップホルダーなどを組み込むことができる。

室内空間が広がったことでさらに快適なドライブが可能。リアシートを倒せば荷室の容量がグッと増す。

日本国内での正式モデル名、仕様および導入時期は未定。発売が待ちどほしい。

MINI正規ディーラーリスト

県名	店名	住所	電話
北海道	MINI札幌	札幌市白石区本通2丁目南5-17	TEL 011-860-3200
	MINI函館	函館市西桂樹町838-6	TEL 0138-49-1032
	MINI釧路	釧路市島取大通4-15-6	TEL 0154-52-5431
青森県	MINI青森	八戸市沼館1-5-1	TEL 0178-20-0782
	MINI盛岡	盛岡市青山4-46-18	TEL 019-641-8689
	MINI仙台	仙台市泉区山の寺2-1-3	TEL 022-772-3232
秋田県	MINI青葉	仙台市若林区遠見塚東4-3	TEL 022-285-9802
	MINI秋田	秋田市飯島道東3-6-57	TEL 018-880-4132
	MINI山形	山形市東青田1-8-64	TEL 023-624-3121
福島県	MINI郡山	郡山市京町2-5-19	TEL 024-924-3298
	MINIつくば	つくば市東新井37-3	TEL 029-860-3298
	MINI水戸	ひたちなか市田産999-60	TEL 029-354-1532
栃木県	MINI宇都宮	宇都宮市平出町4066	TEL 028-613-5532
	MINI高崎	高崎市大八町3000-19	TEL 027-360-3232
	MINI伊勢崎	伊勢崎市宮子町3479-10	TEL 0270-20-6632
埼玉県	MINI和光	和光市鎌町2-1-37	TEL 048-442-2532
	MINIさいたま東	さいたま市緑区大岡木1-1	TEL 048-712-3298
	MINI川越	川越市大仙波390-1	TEL 049-223-3932
千葉県	MINI野洲	野洲市中町2-183-1	TEL 04-2920-3298
	MINI船橋	船橋市船橋1155-1	TEL 048-520-3298
	MINI千葉	千葉市中央区末広5-10-7	TEL 043-305-1232
東京都	MINI分府	松戸市胡録台362-13	TEL 047-312-3232
	MINI川市	川崎市麻生1-41-7	TEL 047-327-1117
	MINI船橋	船橋市市場4-20-8	TEL 047-421-0320
東京都	MINI柏	柏市弥生町8-2-1	TEL 04-7168-3232
	MINI六本木	港区六本木6-12-3六本木ヒルズ六本木タワー(城通)	TEL 03-5411-2874
	MINI品川	港区三田9-12-14 ニューテン三田ビル	TEL 03-6436-0432
東京都	MINI足立	足立区大谷田4-1-25	TEL 03-5697-0032
	MINI江東	江東区亀戸7-41-7	TEL 03-3638-0032
	MINI大田	東京都大田区東雪谷2-4-3	TEL 03-6894-3255
東京都	MINI世田谷	世田谷区瀬田3-5-4	TEL 03-5717-3332
	MINI新宿	新宿区西新宿6-14-1	TEL 03-5909-8632
	MINI八王子	新宿グリーンタワービル1F 八王子市左入町787	TEL 042-692-3298

※2010年2月6日現在 ※MINI正規ディーラーおよびMINI NEXTについての詳細はMINIオフィシャルWEBサイトでご確認ください

www.mini.jp

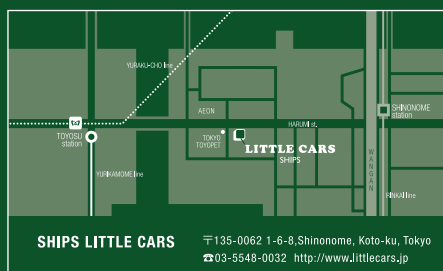
県名	店名	住所	電話
神奈川県	MINI横浜	府中市渡間町4-22-20	TEL 042-354-3298
	MINI東京横浜	町田市川11822-1	TEL 042-788-5032
	MINI西東京	西東京市富士町3-4-22	TEL 042-450-5690
神奈川県	MINI横浜都筑	横浜市都筑区北山田11-110	TEL 045-590-5032
	MINI横浜港北	横浜市都筑区東方町288-1	TEL 045-472-3203
	MINI横浜磯子	横浜市磯子区東町14	TEL 045-754-5532
神奈川県	MINI厚木	厚木市岡田3032-1	TEL 045-860-1732
	MINI横浜戸塚	横浜市戸塚区汲沢町1209-1	TEL 045-860-6632
	MINI湘南藤沢	藤沢市1名737	TEL 0466-23-3241
新潟県	MINI新潟	新潟市中央区出来島2-14-19	TEL 025-285-3298
	MINI富山	富山市黒崎14-1	TEL 076-422-0081
	MINI石川	石川郡野々市町二丁目市町34街区一番	TEL 076-248-5532
福井県	MINI福井	福井市二の宮4-44-1	TEL 0776-27-5532
	MINI甲府	甲府市徳行4-14-13	TEL 055-236-3252
	MINI長野	長野市稲葉2603-1	TEL 026-224-3298
長野県	MINI松本	松本市南松本2-5-1	TEL 0263-24-3298
	MINI岐阜	岐阜市金国町10-26	TEL 058-249-5532
	MINI沼津	沼津市岡一色817-3	TEL 055-923-5932
静岡県	MINI静岡	静岡市東区古庄1-3-2	TEL 054-655-1932
	MINI浜松	浜松市東区富竹町249-1	TEL 053-411-5532
	MINI豊川	豊川市光陽町45	TEL 053-84-3232
愛知県	MINI岡崎	岡崎市上六名4丁目一番地1	TEL 0564-57-0032
	MINI中村	岡崎市南中村区井深町17-24	TEL 052-454-0323
	MINI名古屋	名古屋市中区松原一丁目2-7	TEL 052-339-3255
愛知県	MINI名古屋守山	名古屋守山区小幡千代田15-9	TEL 052-796-7333
	MINI天白	名古屋市天白区一つ山1-16-5	TEL 052-800-3241
	MINI名古屋東	愛知郡長久手町蟹原107番地	TEL 0561-67-7700
三重県	MINI一宮	一宮市太田2-28-6	TEL 059-45-5532
	MINI四日市	四日市市茂福1-8	TEL 059-361-3298
	MINI津	津市高屋長小森町2881-1	TEL 059-238-3298
滋賀県	MINI滋賀	栗東市上475-2	TEL 077-551-3217
	MINI京都	京都市左京区岩倉東五田町16	TEL 075-791-3232
	MINI京都南	京都市伏見区竹田弘ノ川10-3	TEL 075-604-4600
大阪府	MINI大阪中央	大阪府大阪市中央区谷町2-3-12	TEL 06-6941-3211
	MINI箕面	箕面市白島1-2-19	TEL 072-726-3298

県名	店名	住所	電話
兵庫県	MINI守口門真	門真市殿島町9-4	TEL 06-6903-2232
	MINI香里	宝塚市川島町18-6	TEL 072-802-3298
	MINI東大阪	東大阪市北2丁目	TEL 06-6618-3932
兵庫県	MINI堺	堺市北区中百舌島町2-323-1	TEL 072-240-3132
	MINI三宮	神戸市中央区雲井通4-2-2	TEL 078-222-3298
	MINI神戸東灘	神戸市東灘区住吉東町5-1-1	TEL 078-856-9999
奈良県	MINI宝塚	宝塚市向月町3-23	TEL 0797-85-3298
	MINI姫路	姫路市飾通区橋2丁目119	TEL 079-235-3298
	MINI奈良	大和郡山形市上三橋町146-1	TEL 0743-54-3298
和歌山県	MINI和歌山	和歌山市手平1-4-34	TEL 073-402-2080
	MINI米子	米子市道安町4-97-1	TEL 0859-38-3211
	MINI岡山	岡山市平野566-1	TEL 086-292-3232
広島県	MINI倉敷	倉敷市新田2902-4	TEL 086-422-9832
	MINI福山	福山市佐波町小橋120-1	TEL 084-952-5032
	MINI広島	広島市西区観音新町2丁目42	TEL 082-532-8532
山口県	MINI下関	下関市望町4-12-3	TEL 0833-44-0032
	MINI山口	山口市小郡下郷775-1	TEL 083-974-0032
	MINI徳島	徳島市中前町15-1-1	TEL 088-624-3211
徳島県	MINI高松	高松市香西南町921-8	TEL 087-832-9800
	MINI愛媛	松山市小島4-1-19	TEL 089-945-3232
	MINI高知	高知市高知南9-16	TEL 088-880-3236
福岡県	MINI小倉	北九州市小倉北区本町1-7-10	TEL 093-571-4132
	MINI福岡西	福岡市早良区飯倉3-20-38	TEL 092-847-7612
	MINI久留米	久留米市御井旗南1-10-7	TEL 0942-44-5788
長崎県	MINI佐賀	諫早市多良見町551-5	TEL 0957-43-4144
	MINI長崎	熊本市近見6-22-70	TEL 096-323-5532
	MINI熊本	大分市下郷3260-31	TEL 097-568-3217
鹿耳島県	MINI宮崎	宮崎市芳土6-04	TEL 0985-37-2500
	MINI鹿児島	鹿児島市宇宿2-19-3	TEL 099-257-3800
	MINI沖縄	浦添市港川12-1-1	TEL 098-871-3232

LITTLE CARS SHIPS



OPEN
3rd. March



MINI Buff+™ 第2号は、2010年5月発行予定です。

[ミニ バフプラス] に関するお問合せはこちらまで ●有限会社ザッツ [ミニ バフプラス編集部] ●お電話 03-3538-3561 ●Eメール mini@team-zatz.com